

各 位

株式会社アルプス技研  
 (コード番号:4641 東証二部)  
 管理本部 企画部

平成 15 年 6 月中間期 (平成 15 年 1 月 1 日から平成 15 年 6 月 30 日まで) 決算について

株式会社アルプス技研の平成 15 年 6 月中間期 (平成 15 年 1 月 1 日から平成 15 年 6 月 30 日まで) 決算につきまして、下記概略ご報告申し上げます。

【 】 連結決算

( 1 ) 連結決算の主要数値

売上高	7,974 百万円 (前年同期比 +1,133 百万円、 +16.6%)
営業利益	294 百万円 (前年同期比 +185 百万円、 +169.5%)
経常利益	315 百万円 (前年同期比 +197 百万円、 +166.7%)
中間 (当期) 純利益	61 百万円 (前年同期比 +50 百万円、 +421.4%)

( 2 ) 業績の概要

《事業別売上高》

派遣型業務事業	4,385 百万円 (前年同期比 +818 百万円、 +22.9%)
請負型業務事業	3,353 百万円 (前年同期比 +395 百万円、 +13.4%)
製品・商品等販売事業	227 百万円 (前年同期比 75 百万円、 25.0%)
教育等事業	6 百万円 (前年同期比 4 百万円、 41.8%)

連結決算対象でありました子会社 1 社の全株式売却 (平成 15 年 3 月 19 日付) により、製品・商品等販売事業の業績への影響はありましたが、回復基調を思わせる経済環境にあって、派遣、請負型業務事業は顧客のアウトソーシングに対する認知度、信頼度の高まりから受注が旺盛となり、夫々の事業ともに売上は前年同期比で 2 桁の伸びとなりました。

その結果売上高においては前年同期比で +1,133 百万円、+16.6%の 7,974 百万円、経常利益は同 +197 百万円、+166.7%の 315 百万円と増収増益を達成することが出来ました。なお投資有価証券の評価損等による特別損失によって中間 (当期) 純利益は前年同期比 +50 百万円、+421.4%の 61 百万円となりました。

【 】 単体決算

( 1 ) 単体決算の主要数値

売上高	6,848 百万円 (前年同期比 +1,045 百万円、 +18.0%)
営業利益	342 百万円 (前年同期比 +96 百万円、 +38.6%)
経常利益	362 百万円 (前年同期比 +97 百万円、 +36.4%)
中間 (当期) 純利益	162 百万円 (前年同期比 +54 百万円、 +49.7%)

( 2 ) 業績の概要

《派遣・請負別売上高》

派遣事業	4,106 百万円 (前年同期比 +737 百万円、 +21.9%)
請負事業	2,739 百万円 (前年同期比 +306 百万円、 +12.6%)

請負事業のうちモノづくり部門は売上増に至っておりませんが、ソフト開発部門の再編等の事業再構築や営業強化等の実践効果が徐々にではありますが表われつつあります。

一方モノづくり以外の請負事業と派遣事業は堅調で、生き残りをかけた新製品開発競争が盛んな製造業特に自動車並びにその部品等による業界また電池やデジタル製品等の開発が盛んな家電を中心とした電機業界等からの要請が稼働人員や稼働時間に大きく影響を与え、売上増に寄与しました。(今年4月に入社した新卒者(291名)の6月稼働率は前年同月の38.2%から72.2%へと高稼働率となりました。)その結果売上高は前年同期比+1,045百万円、+18.0%の6,848百万円、経常利益は同+97百万円、+36.4%の362百万円、中間(当期)純利益は同+54百万円、+49.7%の162百万円となりました。

なお設計分野別売上および主要業種別売上は以下のとおりでした。

《設計分野別売上高》

	売上高(百万円)	前年同期比	構成比(前年同期構成比)
電気機器設計	2,146	+15.2%	31.4%(32.1%)
輸送用機器設計	1,144	+34.1%	16.7%(14.7%)
機械設計	1,167	+21.8%	17.1%(16.5%)
精密機器設計	791	+7.6%	11.6%(12.7%)
情報処理設計	1,276	+6.1%	18.6%(20.7%)

《主要業種別売上高》売上高上位100社による売上高構成比10.0%以上の業種

	売上高(百万円)	前年同期比	構成比(前年同期構成比)
自動車(含む関連)	1,458	+36.4%	26.6%(22.8%)
電機	987	+32.3%	18.0%(15.9%)
ソフト	900	+3.5%	16.4%(18.6%)
OA機器	676	+15.8%	12.3%(12.5%)
精密機器	609	+14.8%	11.1%(11.3%)

また派遣の稼働時間、単価、稼働率は次のとおりでした。

	平均(前年同期)	除く新卒(前年同期)
稼働時間	183H(176H)	184H(177H)
単価	3,196円(3,204円)	3,232円(3,222円)
稼働率	93.2%(88.2%)	97.8%(94.8%)

【 】平成15年度通期(平成15年1月1日から平成15年12月31日まで)の業績予想

平成15年になってからの国内総生産の経済成長率(GDP)が、1~3月、4~6月ともにプラス成長と言う背景が中間期の業績に影響を与えていると思われます。一方7月以降の景気動向は、総務省の業況見通しでは4~6月よりDIで4.2ポイント改善の見通しとありますように、全体的には景気に不透明感はありませんが、中間期同様の経済環境が続くと想定し、平成15年度通期業績を以下のように予想しています。

《連結》

売上高	16,600百万円	(前年同期比)	+1,895百万円、	+12.9%)
営業利益	910百万円	(前年同期比)	+338百万円、	+59.1%)
経常利益	900百万円	(前年同期比)	+326百万円、	+56.8%)
当期純利益	320百万円	(前年同期比)	+251百万円、	+363.8%)

《単体》

売上高	14,100百万円	(前年同期比)	+1,691百万円、	+13.6%)
営業利益	910百万円	(前年同期比)	+115百万円、	+14.5%)
経常利益	950百万円	(前年同期比)	+129百万円、	+15.7%)
当期純利益	460百万円	(前年同期比)	+263百万円、	+133.5%)

なお配当は、期初予想通り期末に年間配当金としまして1株当たり20.00円を予想しています。

以上